

## 第 60 回 原子力損害賠償・廃炉等支援機構 廃炉等技術委員会 議事要旨

日時：2024 年 9 月 18 日(水) 16:00～18:00

場所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 会議室及びオンライン

### 1. 技術戦略プラン2024について

機構から技術戦略プラン 2024 本文案について、前回の議論を踏まえて主に前回からの変更箇所について説明を行った。

廃炉等技術委員からの主な意見は以下のとおり。

- 試験的取り出しのトラブルについて、東京電力がすべての作業を管理するというより、多層請負構造のなかでそれぞれの会社が役割を果たせるよう、きちんと役割分担を行うこと、その役割を守らせることが重要。
- 東京電力が全体の発注者なのだから、契約先選定も含めてオーナーとしての包括的な責任があることはきちんと明確に記載すべき。
- 窒素封入停止後のリスク評価においては、構造物の腐食や閉じ込め機能の維持の不確かさの発生などの観点も含めて慎重な分析が求められる。
- ロードマップ第 3 期において議論すべき課題について、燃料デブリ取り出しの困難さとその実施における安全への配慮について、地元住民や社会全体へ情報発信、丁寧な説明を行い理解を得る努力をする必要があるのではないか。

委員からの意見を踏まえた修正については、委員長に一任の上、技術戦略プラン 2024 を策定・公表することについて同意された。

### 2. 廃炉等積立金の取戻しに関する計画の作成方針について

機構から、廃炉等積立金の取戻しに関する計画の作成方針（以下「取戻し計画の作成方針」という。）案として、廃炉等積立金の取戻しに関する計画を作成するにあたり、特に適切に対処すべき事項として（1）廃炉等の実施内容、（2）廃炉を進めるための基盤整備の内容について説明した。

廃炉等技術委員からの主な意見は以下のとおり。

- 現在進められている廃炉作業に関し、未経験、未踏の道を進んでいることも踏まえて、常にフィードバックを行い、方向転換も視野に入れた計画である必要があるのではないか。

委員からの意見を踏まえた修正については、委員長に一任の上、取戻し計画の作成方針を東京電力に提示することについて同意がされた。

### 3. 廃炉への取組状況について

東京電力より ALPS 処理水海洋放出の状況について、2 号機使用済燃料プールのスキマサージタンク水位低下を受けた対応状況について、2 号機燃料デブリ試験的取り出し作業の全体状況について説明があった。

以上